

### 3年 総合的な学習の時間 年間指導計画

学期	単元名 学習テーマ	流れ	学習活動	時	支援	おもな評価規準	備考
1 学期	木となかよくなる う (環境) 【26時間】		単元のねらい ・木や植物にも命があり、きびしい自然の中でもたくましく生きていることや、自分たちの生活や命も木や植物に守られていることを知ることで、木や植物、自分たちの命を大切にしようとする。				
	春を感じよう	ふれる	○木に触れて木の様子を観察する。	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この後も一年間を通して木の様子を観察することができるようにする。</li> <li>・自然の中での木の営みや生きていくための工夫等に気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎木への興味、関心を高めることができる。(活動の様子)</li> <li>◎厳しい冬の間も生き抜いた木の生命力に気付くとともに自然の営みの不思議さに目を向けることができる(感想カード)</li> </ul>	
	木に目を向けてみよう	②	○木が水を吸い上げる音を聞く ○学校の周りの木の数を数える ○自分の木を決める	1			
	自分の木と仲良くなるう	つかむ	○観察カードに記入する。 「名前、色、高さ、太さ、手触り等」	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の木について詳しく知るとともに、友だちと紹介し合うことでどの木にも命があり、大切な存在であることを感じられるようにする。</li> <li>・木に詳しい人や資料、視聴覚教材等を用意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎木にも、自分たちと同じ命が宿っていることを感じ、木を大切に思い関わろうとすることができる。(作品、観察カード)</li> </ul>	
	木の一生		③	○木の一生について知る			1
	調べることをきめよう	見通す・深める	○人間や生き物の生活を支えている木の役割について、調べていくことを決める ・いくつかのテーマから自分の課題を選択する。 例 「身のまわりの木製品」「動物や昆虫にとっての木の役割」「紙でできているもの」	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・追究できるテーマを用意する。(支援できるもの、課題としてふさわしいもの、追究するに値するもの)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎木について自分で追究したい課題を見付けることができるとともに、課題の解決に向けて調べる方法を考え、学習を進めることができる。(学習計画表、ポートフォリオ)</li> </ul>	
	自分で調べてみよう		④	○選択した課題について方法を考えながら追究する。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンの使い方を指導する。</li> <li>・追究方法の例示(情報収集の方法)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎課題解決に向けて自分に必要な情報収集の方法を考え、集めることができる。(自己評価、活動の様子、メモ)</li> </ul>
工場を見学してみよう			○製紙工場を見学し、木が紙になるまでの工程を知る。 ○工場で働く人たちの話を聞く	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本製紙白老工場の見学依頼を出す。(0144-83-2711)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎自分たちの生活にとって大きな役割を果たす紙も木から作られていることを知る。(自己評価)</li> <li>◎木が紙になるまでの変化の様子をとらえる。(自己評価)</li> </ul>	

1 学 期	自分と木のかかわりについて振り返ろう	振り返る① ○木とのかかわりについて考える ○紙の使い方等について振り返る	1	・振り返る視点を例示し、児童が考えられるようにする。	◎木は自分たちの生活の支えになっていることに気付くことができる。(自己評価)	
	学習をまとめよう	まとめる⑤ ○学習したことを新聞等にまとめる	5	・自分の課題と木や自然とのかかわりについて振り返られるようにする。 ・自然環境全体に目を向けられるようにする。	◎学習したことをもとに、木に対する自分の考えをもち、まとめることができる。(まとめの作品)	
	発表会をしよう	伝える・つなげる② ○まとめたことを発表し合い、意見の交流をする。 ○これからさらに知りたいこと、深めたいことについて考える。	2	・これまで学習してきたことを振り返り、意見の交流ができるようにする。	◎木について自分の考えを周りの人に伝えることができる。(発言)	

<b>2 学 期</b>	わたしたちのまち 登別（地域） 【30時間】	単元のねらい ・自分たちの住む登別市について知ることによって登別市のよさや特徴に気付き、自分も登別市に住む一員として進んで地域と関わったよりよいまちづくりについて考えることができる。					
	登別ってどんなまちだろう	ふれる ①	○登別について知っていることやイメージすることを話し合う。（観光地、温泉、自然、近郊とのつながり）	1	・自分たちの住んでいる地域だけでなく、登別市全体に目を向けられるようにする。	◎自分たちが住む町への興味や関心をもつことができる。（話し合うの様子、感想カード）	
	登別にはどんなよさや特徴があるのだろうか	つかむ ②	・市全体に関わること ・観光地として（建物、施設、取組など） ・自然に関わること ・お店や工場など ・登別市の歴史 ・他のまちや地域とのかかわり	2	・自分の課題とつなげたりさらに深めたりできるものがないか、さまざまなことに目を向けられるようにする。	◎登別市にはいろいろな施設や建物、自然、歴史などがあることを知り、自分が追究したい課題に生かすことができる。	温泉入浴 体験学習 （社会科と の運動）
	登別のまちのじまんでできることを見つけよう	見通す	○登別の自然、観光、歴史、さまざまな取組など自分の興味・関心から課題を設定し、追究していく。 ・観光地として（ビデオやパンフレット） ・自然に関わること（ヨシキリの会等） ・生き物や植物（ふおれすと鉱山） ・市役所、図書館、広報誌、新聞など ・市の施設や団体（郷土資料館等）	8	・自分の課題を追究するための情報を集められるよう個々に応じた支援をする。 ・公共施設や様々な団体での情報収集について手順や方法を十分考えさせる。 ・個々の課題が達成されるよう関係機関と連絡を取り、協力を得る。 ・パソコンの使い方指導をする。	◎登別市には様々なよさや特徴があることに気付き、自分の課題を追究するための方法や手順を考えることができる。（学習シート） ◎様々な情報から、興味や関心を広げたり深めたりすることができる。（自己評価シート）	ふおれす と鉱山で の見学学 習
	地域の方から話を聞こう	深める ⑬	○地域の方から登別の歴史やこれまでのまちづくりについて話を聞き、まちができるまでや登別市に住む人々の思いについて考える。	2	・人々がどのような思いでまちづくりに関わっているのかを知ることができるようにする。 ・郷土資料館ボランティアグループの方など、地域を知る人材と連絡をとる。	◎登別市やまちづくりに関わる人々の思いを知り、自分たちの住むまちに対する意識を高め、自分も登別市の一員であるという気持ちをもつことができる。	
	もっとくわしく調べてみよう		○もっとくわしく知りたいことについて調べる。 ・これまでにわかったことや関連することからさらにくわしく知りたいことを決めて調べる。	6	・これからの課題についても目を向けられるようにする。	◎さらにくわしく知りたいことを決め、解決の方法を考えることができる。 ◎登別市には様々なよさや特徴があることに気付くことができる。	
	登別のまちじまんでしよう	振り返る ⑧	○調べて分かったことをまとめ、登別市のよさや特徴を伝える。 ・新聞 ・ビデオ ・写真 ・本 ・紙芝居 ・パンフレット ・パネル など	8	・登別市のよさや特徴、これからの課題など学習を通して学んだことをまとめさせる。（1学期の学習を生かして） ・同じテーマの場合はグループを作ってまとめさせる。	◎友だちと情報交換をしながら活動を進めることができる。（活動の様子、作品） ◎自分が伝えたいことを自分なりの方法で表現することができる。	発表会 （プレゼン テーション）
	自分と登別市とのつながりについて考えよう	まとめる ②	○学習して分かったことをまとめ、自分と登別市とのつながりについて考える。	2	・自分が生活している登別とどのように関わっているのか考えさせる。	◎登別市のよさや特徴に気付き、自分の生活との関わりやつながりについて考えることができる。（発表の様子、自己評価）	
	これからの登別について考えよう	つなげる ①	○これからのまちづくりや新しいまちについて考える。 ・登別のよさや特徴として伝えていきたいこと ・もっとこんなまちにしたいという願いやこれからの課題など	1	・これからも大切にすべきよさや特徴だけではなく、さらに発展させていきたいことについても考えられるようにする。	◎登別市の一員として、よりよいまちづくりについて考えたり、これからの自分の生活につなげたりすることができる。（自己評価）	

3 学 期	世界の国をのぞいてみよう（国際） 【14時間】		単元のねらい ・世界の中にはたくさんの国があり、様々な人たちが様々な文化をもち生活していることに興味をもつとともに、それぞれの文化を理解しようとする。			
	外国の生活や文化に目を向けよう	ふれる②	○外国の生活や文化に目を向ける。 ・世界地図を見ながら、知っている国について交流する。 ・外国の音楽を聴いたり、踊りを見たりする。 ・外国の文化や生活について知る。	2	・登別在住の外国人やALTを招き、その国の言葉や文化などを紹介してもらう。 ・日本に来て、困ったことや驚いたことなどを話してもらい、いろいろな国について調べることに関心をもたせるようにする。	◎外国のことについて興味や関心をもつことができる。（感想カード）
	外国とのつながりについて考えよう	つかむ②	○自分たちの生活と外国とのつながりについて考える。 ・外国の言葉や生活習慣について知る。 ・世界には様々な生活や文化があることに気付く。	2		◎自分たちの生活や文化と異なるものがあることを知り、理解しようとする。（話し合いの様子、自己評価）
	外国人（ALT）と交流しよう	見通す 深める	○ALTと交流する。 ・英語で挨拶、数、食べ物などを話す。 ・ALTとの交流を通して、自分と外国のつながりについて考える。 ・違う文化や生活について知ったり、体験したりする。 ・ゲームや歌などを通して、外国人や外国の言葉にふれる。	5	・異文化交流の手段として英会話を学ぶ。 ALTとの交流を通して、その国の生活や文化にも触れる。	◎英語活動を通して、国際社会や世界、異文化への興味、関心を広げることができる。（活動の様子、自己評価）
	世界の国をしらべてみよう	まとめる ⑧	◎自分が興味をもった国について調べる。 ・世界の中で興味をもった国について調べる計画を立てる。 ・計画をもとに追究する。（インターネットや図書資料等、これまでの追究方法を生かしていく。） ・追究したことをまとめよう	3	・今までの活動や体験から、自分が調べてみたい国を決めさせる。 ・その国の言葉や文化、自分や日本とのつながりを意識して調べられるようにする。 ・発表の仕方を見直し、新聞等にまとめられるようにする。	◎自分の興味や関心を課題まで高めることができる。（学習シート） ◎自分が得たものを写真や絵などを効果的に使い、まとめることができる。（まとめの具体物）
みんなで交流しよう	伝える 振り返る ②	◎まとめたものを交流し、自分の考えを深める。 ・自分と世界とのつながりや日本と世界とのつながり ・自分たちも世界の一員であること	2	・発表については視覚的なものや身体による表現を多く取り入れることができるようにする。	◎世界と自分や日本とのつながり、異文化をもつ人々の生活について調べて分かったことや考えたことを発表し合い、理解を深めることができたか。（自己評価等） ◎相手意識をもって自分が伝えたいことを工夫して表現することができる。（様子、相互評価）	